

賢い人，愚かな人

ーモヤシからのメッセージー

昔から世の中には賢い人（かしこいひと）と，愚かな人（おろかなひと）がいるものです。

Aタイプ（賢い人）……3年の5月か6月に服装・頭髪を校則通りのあるべき姿に直す人

Bタイプ（愚かな人）…3年の5月や6月になっても服装・頭髪が乱れたままだし，さらにはこのあたりから髪の毛の色を変えてみたり，異装を試してみたりする人。

後者のBタイプの人は，何というか，気の毒というか「時」の意味をつかめない人なのかもしれません。

筆者はこれまですでに数千人の中学生を見てきました。千数百人の3年生の授業を受け持ちました。数百人の3年生を担当しました。だから想像できることがたくさんあります。

いやみっぼい言い方で申し訳ないのですが，ここではこれ以上詳しく書けないので，どうか想像してほしいと思います。

一つだけ書いておくとすれば，以前の学年集会で言われていたことを確認しておきましょう。

Bタイプの人は推薦入試では泉中から推薦しません。

それはそうです。高校にしてもBタイプの生徒は必要ないからです。

みなさんにも選ぶ権利があるように，高校にも選ぶ権利があります。高校入試とよく言いますが正式には「入学者の選抜（センバツ）」と言います。つまり，入学者も高校が選抜するのです。高校にしても，勉強やスポーツ，部活動や学級活動，生徒会活動で先頭になって積極的にやってくれる人を推薦入試で求めています。高校の校風をよりよいものにしてくれる人を求めています。学校の雰囲気をごわす人など必要としません。そんなBタイプの人を中学校から推薦すれば高校の迷惑になります。泉中の評判は落ち，後輩の入試にも影響します。

だからBタイプの人は泉中から推薦しません。

ではどうしたらいいのか。答は至って簡単。Aタイプの生徒になるだけでしょ。

別に難しいことを言っていないです。

たとえば，数学で毎回100点取らないとダメです，なんてことは言いません。

100mを11秒以内で走れないとダメです，なんてことは言いません。

3年間生徒会長をしていないとダメですなんてことは言いません。

誰でも簡単にできることです。

筆者がこの学校に来て，4月以来，たくさんのBタイプの人を見てきました。中にはすでにAタイプに変身し，勉学に励んでいる人もいます。

でも，まだまだたくさんのBタイプの人があります。

たとえば「シャツ出し男」。Bタイプの代表です。

今回はよく見られるBタイプの人について少々考察してみましょう。

夏服移行期間となってからというもの，3年生でシャツをズボンから出し，ひらひらさせて歩く「シャツ出し男」が目立つようになり，あちこちに出没中です。

中には，自分たちでだめなことだと意識している人もいますが，わざと出すようになると，ちょっと悪質。まだしも，ほんとにだらしなくて出す人，走り回るうちに勝手に出ってしまった人の方がましなのですが，これを流行ととらえ，わざと出すようになると，すでにBタイプです。

最近の若者の流行の一つに「だらしなく見せる」というものがあります。つまり，きちんとした格好をしないことが格好いい，というヤツです。その影響が中学校にも現れ，男子ではシャツをひらひらさせて歩くことが流行中です。ちょっと前なら女子高生のルーズソックスでした。

高校生ではさらに「ズボン下げ」も流行中。ズボンを下げて、トランクスをわざと見せるものです。ま、下着を見せて歩くという、とっても悪趣味なものなのですが、それとても格好いいということで流行中なんですね。昔ならば、(おっと、おじさんの言い方だ)下着を出して歩かなくて、ただのアホ!か変態!でしかなかったものが、それが流行(はやり)なんてどうしたことでしょう。もちろんこの手の「ズボン下げ男」も泉中には存在しています。それは泉中だけのことではなく、町を歩けばよくそれをやっている高校生以上の男を見かけます。ですが、中学生でそれが当たり前だと思うのはまさしくBタイプです。

それから「ボタンはずし男」第2ボタンを外して、色シャツを見せたいのでしょうか。

女子はというと同じように「ボタンはずし女」です。合服の場合に第1ボタンは特に留めなくてもいいのですが、さらに第2ボタンまで外す人がいます。意味もなくです。

第1ボタンを外すだけで、十分首は苦しくないし、暑苦しくもありません。でも第2ボタンまで外しています。制服の着こなしとしては、意味がなく、また見苦しいものです。

たとえば世の中にはいろいろな職業で制服があります。銀行やデパート、鉄道に飛行機と会社ごとの制服があります。そんな企業で、だらしなく制服を着ている人がいるとしたら、この会社ってどうなっているのだろうと印象が悪くなります。学校も同じです。そして、その人の印象ももちろん悪くなります。

そして「色シャツ男」。赤に黒といろいろな色のTシャツを着てくる人がいます。

世の中変なものです。日本の若者は何て平和なんでしょう。こんなことをすることで自分の存在を誇示している。自分を目立たせる方法が、シャツ出しやズボン下げだなんて。毎日働かなくても食べていける日本の若者は、ほかにすることがないんでしょう。生きることに一生懸命でなくていいから、流行を追ったり、目立つことを考えたりするしかない。受験勉強さえ一生懸命しないから、授業さえ一生懸命受けようとしなから、それ以外のことをする。

学校へ行きたくても行けない子どもたちがたくさんいる国もあれば、食べるものがなくて次々と子どもたちが餓死する国もあれば、シューズもなくて、子どもたちは裸足でしか歩けない国もあれば、昼間から子どもが働かなければ一家が食べていけない国もある。

日本はあまりにも豊かな消費国家、消費社会となり、消費と商品交換は目的だが、ほかに目的のない子どもたちが大量生産されている。泉中の今の姿は消費社会の一つの現象かもしれません。

一生懸命何かに打ち込む人は、外見にこだわる暇がなくなります。外見にこだわる暇がなくなるといついっただらしなくなるならまだしも、わざとだらしなく見せる必要はどこにあるのでしょうか？

流行というものをつくり出すこと自体は文化的には高い水準であるわけですが、単なる人まねでは高い文化などとは言えません。ましてやみっともないことがいいことだ、とか、だらしないのがいいことだなんてな発想は、貧困な発想ですね。

もしかすると、みなさんが大人になる頃には、日本の人口の半分以上が髪を染め、紫や黄色も当たり前になっているかもしれません。もちろんその反対で、日本人が茶髪にするのではなく、みんな黒髪が素敵なんだと、そんな風になっているかもしれません。小学生からピアスをするのが当たり前になっているかもしれません。学校から制服がなくなっているかもしれません。それは時代の流れですから、どうなるかはわかりません。

でも今の中学校では、少なくとも勉強やスポーツをすることや、社会性を養うことを目的として、教育活動が行われています。これらの内容は明確に教育基本法や学校教育法という法律で示されています。学校には目的があるのです。

したがって、今は自分の外見を飾るより、内側を磨くことに重点を置くことが大切です。外見よりも中身に目を向けることです。髪や眉は3時間もあればどうにでも加工ができます。シャツ出しやボタンはずしは10秒で実行できます。でも受験生としての内部の力は10秒やあるいは3時間かけてもつきません。

ということで諸君、よく回りを観察してみなさい。いつまでもBタイプの同級生の高校入試の結果がどうなるか、注意深く観察するのもおもしろいものです。また、今の段階で来年はどうなるのかを想像してみるのもいいでしょう。Bタイプの同級生は今何に熱中しているのか、そして、尊敬できることをしているのか、よく見る必要があります。そして、君たちも今何をしたらいいのかをよく考えることです。そして、今このときに、Bタイプの人間になろうとするのならかなり病気です。その病気の病名とは？というお話はまた今度。